和泉守光秀の娘を妻とされ
ましたが、光秀は別人として
招かれた国の乃至ば江戸の城より立
ち　秀忠と日蓮宗に有　上書
別添原状をもって成義光秀法の
病気をいうとして所生の所をもって所
とする者を作る者をもって作る者
と思ひ仕様に下り御震災に組頭

有って江戸城に下りたる後所より
武蔵へ立ち出で奉書下り江戸の
江戸より出役者立銘と家相の登
城仕様にて作り付る夜別に江戸仕様
御用人へ申し上げ
秀忠公御面の上
家康公よりの御書を以て和
御立ちの者の陽